

件名	久慈市自立・分散型エネルギー供給スキーム設計業務 第2回検討委員会 議事録
日時	令和4年12月12日(月) 13時30分～14時45分
出席委員	大崎委員、久松委員、上有谷委員、高橋委員、若林委員、尾留川委員
場所	久慈市役所3階 車庫棟会議室2・3
資料	資料1. 第2回検討委員会資料
議事	議事1 進捗状況及び調査結果(第1回検討委員会の振り返り) 議事2 調査a. 再エネ利用のオフサイトPPA事業導入可能性調査 議事3 調査b. オンサイトPPA及びエコキュート導入可能性調査 議事4 本調査事業に係る今後のスケジュール

1. 検討委員会の進行について

大崎委員の挨拶のあと、大崎委員を座長として議事を進行。

2. 議事1(進捗状況及び調査結果(第1回検討委員会の振り返り))

- ・資料P2について太陽光発電候補地の旧小学校のうち、旧山形村川井地区は対象外ではないか(委員)
 - 需要家の対象エリアを旧久慈市市街地、旧山形村川井地区としており、発電候補地としては図1-2で示している旧小学校、久慈地区拠点工業団地、山形村の山間部(風車)として調査している(事務局)
- ・システムの末端部であれば中心地域に比べ系統連系における制約が小さいか(委員)
 - 末端部の方が、一般的に電圧変動が大きいため対策が必要となる(制約が大きい)(委員)
- ・末端部であればマイクログリッド事業を実施するには中心地域に比べ容易か(委員)
 - 事業の内容によるが、容易性では複雑な配電線路のある都市部よりは制約は小さいと考えられる(委員)
- ・交付金を用いたマイクログリッド事業は難しいか(委員)
 - 系統の利用に比べ事業費用が大きくなることから採算性の面では事業実施がより難しいと考える(事務局)

3. 議事2(調査a. 再エネ利用のオフサイトPPA事業導入可能性調査)

- ・アンケート結果において回答があった事業所は19事業所ということであるが、今回の対象は22施設ではないか(委員)
 - それぞれ事業者へアンケートを送付しており、その中には本事業に対して後ろ向きの事業者、2施設を1施設として管理している事業者もいるため数に不整合が発生している(事務局)
- ・P11の逆潮流可否になぜ○と×が出てくるのか(委員)
 - 本項目については東北電力ネットワークに事前相談という形で確認し、その回答を記載している。一般的に逆潮流ができないのは配電所の変圧器容量や高圧線の熱容量のためである(事務局)
 - 事前相談の回答書については、東北電力ネットワークに対して再度確認して頂きたい(委員)
 - 再度事前相談の回答書を確認し、東北電力ネットワークに問合せを行う(事務局)

- ・ P17 の自営線ルートについて、なぜ蛇行した形となっているのか（委員）
 - 基本的には自営線ルートの検討については市道をベースにしている。山間部については所有者（地権者）との交渉が難しいことも考慮している（事務局）
 - 山間部はメンテナンス性に優れない。東北電力ネットワークにおいてもメンテナンス車両が通行できる道路沿いに電力線の移設等を行っている（委員）
- ・ P6 の「医療施設」とは高齢者施設のことか（委員）
 - 高齢者施設のことである。分類上「医療施設」にしている（事務局）
- ・ P8 の結果において「導入する計画なし」とあるが、どういった理由か（委員）
 - 「導入する計画なし」（例：事業者と建物所有者が異なるため）の理由については今回の事業では確認していない。なお、久慈市の太陽光発電の補助金制度は民間事業者においても対象としており、kW に応じて申請は可能（事務局）

4. 議事 3（調査 b. オンサイト PPA 及びエコキュート導入可能性調査）

- ・ 昨今の物価高騰もあり、イニシャル費用については見えないことが多い。報告書に記載する際は現在での状況を記載し、更なる価格高騰のリスクも記載しておいた方がよい。（委員）
 - 承知した。（事務局）
- ・ P21 のオール電化とは、給湯器をエコキュートに変更した場合の考えか、又は家を建て替えるのどちらか。また、オール電化でも暖房利用の灯油は変わらないと考える（委員）
 - オール電化は給湯器をエコキュートに切り替えることで検討している。また、オール電化のため暖房はエアコンであり、灯油は利用しない考えとしている（事務局）
- ・ 余剰電力を電気自動車への充電に利用できないか（委員）
 - 余剰が発生する昼間は、電気自動車は使用しているため電気自動車への充電はないと考えられる。また、余剰電力活用という点において蓄電池は高価であることから、今回の業務からは除外しエコキュートにて検討している（事務局）
- ・ 条件が見えないところもあるため、分かりやすく明示してほしい（委員）
 - 承知した。修正する（事務局）

5. その他

- ・ 旧山形村の住民への説明会はいつ頃を予定しているのか（委員）
 - 令和 4 年度末までの実施を目標にしている
- ・ 説明会についてはどういった形で考えているのか（委員）
 - 別途相談させて頂きたい（事務局）